

国際ロータリー 第2780地区

ガバナー月信

2024年3月号 No.9

2023-2024年度ガバナー 田島 敏久



世界に希望を生み出そう

RID2780地区テーマ

若者と希望:MENTAL HEALTHで和の世界を生み出そう

Rotary



秦野RC 3000回例会



伊勢原RC 地区大会にて



秦野中RC ヤマユリ鑑賞会



伊勢原中央RC 友好クラブ訪問



秦野名水RC 例会場にて



伊勢原平成RC 初例会

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780

2023-2024



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2023～24年度ガバナー

田島 敏久

(相模原西RC)



『水と衛生』

3月22日は国連が定めた世界水の日です。1992年12月に国連総会で定められた世界水の日には、水が大切であること、きれいで安全な水を使えるようにすることの重要性について世界中の人々と一緒に考えるための日です。

世界で水道水を問題なく飲める国は、10か国です。(日本、南アフリカ共和国、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、ドイツ、オーストリア、アイスランド、アイルランド、スロベニア)

飲料水は川・地下水等の水を浄化しています。日本一水のきれいな川、穴吹川(吉野川水系・徳島県)は日本一の清流です。姫川・新潟県も水質ランキング上位です。きれいな川が多い日本では水の衛生環境は安全な国といえます。

2024年1月1日の能登地震(石川県では最大震度7)が発生しました。238人もの犠牲者。避難所では連日100人以上の感染症(インフルエンザ・コロナ・混合感染)の患者が発生。感染対策としての手洗いの徹底、きれいな水の確保は重要課題です。

郵送が可能な地域にはペットボトルの水を送る。運べる地域には、トラックで大量の水をタンクで届けています。被害の大きい石川県へは郵送不可能で道路も分断で通行不可能です。私たちロータリーアンはヤキモキしつつ断水の前には無力です。

現状は心支援が中心。まさにメンタルヘルスケアです。いやいや、これを機に、ロータリーのネットワークの発想の転換! 地区やクラブで建築関連の会員を通じて、タンクローリーのあ

る会社を登録しておく。仮設トイレを貸し出しする会社も登録、緊急避難として、ボランティア出動要請出来る体制を確立。天災の国・日本だからこそ出来る助け合いと言えます。

国の自衛隊あり。ここに民間のロータリーあり。水と衛生を守るロータリー活動です。普段から、地下貯水槽増設工事の支援をする。日本国内でも今後災害時の水と衛生を守るロータリー活動に花が咲きます。備えてあれば憂いなし。地道な日常活動を大切に。世界第三位の日本の水道水を大事にしましょう。水を大切にすることも水と衛生を守ります。近い将来、能登災害が一段落した折は。

世界一汚れた川、チタルム川(インドネシア・ジャワ島の西部)を綺麗にする活動に参加するのも良いでしょう。チタルム川は源流は飲料水としても使われる程きれいな川だが、ジョコウィ大統領は日本の支援の下7年間でチタルム川を浄化する方針を発表した。少し前は雨が降ると廃棄されたゴミが大量に川に流れ込みゴミの上を人が歩ける状態でした。日本政府は今まで洪水対策や治水事業を支援してきました。

この度は水質改善の協力要請をうけています。現在ゴミの上を歩ける状態は脱却したが、ゴミ投棄がなくなると ゴミを拾って売って生活の糧にしている住民がいる為に、畜産や川の清掃などの新しい仕事の支援等、水と衛生を守る事が私たちロータリー会員の使命でもありましよう。

国内では日頃から地下水貯蔵の資金推進のお手伝い致し海外でも清掃作業など積極的に行動しましょう。

1月Rotex行事 鎌倉散策について

ROTEX 高橋 実未

鎌倉散策は、毎年恒例となっているROTEX行事です。歴史深い寺社仏閣を訪れ、観光地として栄える鎌倉を散策しながら日本文化に触れてもらうことを目的として行いました。今回は来日学生に加え、2780地区と2590地区の派遣候補生も初めて加わり、総勢約30名でのRotex行事となりました。前日の夜には雪も少し降り天気を心配していましたが、当日は晴天に恵まれ予定通り開催することができました。11時に鎌倉駅に集合し、江ノ電で長谷駅まで移動した後は二つに分かれて鎌倉の高徳院と長谷寺を交互に見学させて頂きました。高徳院ではロータリアンの方のご厚意で英語のパンフレットを用意していただき、来日学生はその内容にとっても興味を持ったようで熱心に説明を読みながら院内を見学していました。また大仏の内部を見学させて頂く経験もできました。その他にもお線香をあげたり、御朱印を貰うなどしている学生もいました。

長谷寺では4~5人ほどのグループに分かれ見学を行いました。観音堂にある十一面観音菩薩や弁天窟、地藏堂などを見学した他、団子を食べたりおみくじを引いたり、見晴台から見える海をバックに記念撮影をしたりとそれぞれ楽しんでいました。長谷寺の後は鎌倉駅に戻り、1時間半程グループで自由に散策を行いました。小町通りでは気に

なったお店に入ってみたり、好きな食べ物を買って食べたり、プリクラを撮ったグループもあったようです。来日学生の中には小町通りにあるカレーパンやいなり寿司が有名なことを知っていて食べるのを計画していた子や、寒い中でもスムージーを買って飲んでいる学生もいました。派遣学生も鎌倉に来るのが初めてだという学生も多く、どちらの学生にとっても新鮮な経験になったのではないかと思います。そのあとは鶴岡八幡宮に集合し、15時に解散となりました。当日は日曜日ということもありかなり混雑していましたが、大きなトラブルもなくとても楽しんでくれたようで良かったです。

派遣学生にとって全員が集まるのは12月のオリエンテーション以来2回目でしたがすでに仲良くコミュニケーションが取れていて驚きました。また派遣学生と来日学生が合同でのROTEX行事は初めてだったので、仲良くできるか心配していましたが、特に問題なく仲良く行動できたようでした。しかしまだお互いぎこちなく、派遣生同士、来日学生同士で固まってしまう傾向があったので、今後のROTEX行事や毎月の懇親会での交流を通してより仲を深めてもらえれば良いのかなと感じました。



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
1月Rotex行事 鎌倉散策について	3
第9グループ IM報告	4

米山学友会主催「国際交流会」	5
第8グループ IMを振り返って	6
第6グループ IM報告	7
第7グループ・クラブ紹介	8
新会員紹介 他	11



第9グループ IM報告

第9グループ

ガバナー補佐 井上 勝典

(足柄RC)



2024年1月24日(水)、小田原市風祭「鈴廣一鈴の音ホール」にて、第9グループIM・合同例会を開催いたしました。この会場は、皆さまご存じの通り東京一箱根間駅伝、小田原中継所となっております。正にこの中継所は「世界が平和に向かう櫂」渡しであり、世界が目指す平和への一里塚でもあります。

この地球上では、いつ、何処で、どんな災害、災難、紛争がおきても不思議ではありません。まさしくウクライナ戦争はその事象で未だ止む事なく年月だけは過ぎて居ます。その様な時、常に犠牲になるのは、弱者、子供達であり、止むことを知らない戦禍は、世界に希望と平和を与える事は無く、失望しかありません。

我々ロータリアンとして何が出来るかを考えた時、先ずは其れ等の人々に寄り添い、空いてしまった心の隙間に私達の心を寄り添わせ、希望を取り戻し、新たな希望を生み出させ、生きる目標とし新たな人生構築に向けて歩み出して行く。それら全てを繋ぎ結びつけるものの一つが、音楽で有ったり歌声であったり、それらは魂の叫びであり心からの叫びでもあります。その叫びを灯し、その灯火を戦禍で苦しむ人々の寄り添いの灯火とし繋げて行く。其れも又、私達に出来る寄り添い方のひとつでは無いでしょうか。

郷土の偉人二宮金次郎が、郷土が疲弊し人心も混乱する世の中を立て直す為に時の幕府より依頼

され各地に赴き(至誠、勤労、分度、推譲)報徳仕法をとき各地域に灯火を灯し、今でもその灯火は多くの財界人、政治家、実業家に受け継がれその思想は今現在も脈々と灯って居ります。

今回御招きしたウクライナ民族楽器バンドウーラ奏者のカテリーナ様の演奏をお聴き戴き、世界中に避難されて居るウクライナ国民の皆様のごころや平和に対する想いを少しでも感じて頂きたい。平和だった頃の山や川、青い空、草花、友達、兄弟と目を閉じれば浮かぶであろう故郷の景色・そよぐ風を感じて想い描けたなら、ウクライナ国民皆様の心の一端を私達も共有できるのではないかと思います。

バンドウーラの音色は、そんな故郷を彷彿とさせる郷愁を誘う音色であります。ぜひとも心穏やかにこのひとときを過ごして頂けたなら、ロータリーから発信する世界平和も実を結ぶのではないかと希求します。言葉では言い尽くせない部分があり、本来であればこの雰囲気・演奏を生で聴いて頂けたならば、より一層皆さまのごころも高揚したのではないのでしょうか。

今年度「IM、合同例会」を運営、開催して頂いた小田原中RC勝俣秀美会長、そして実行委員会立川公一委員長並びに実行委員の皆様、そして第9グループ各RC皆様、更に関係各位の皆様には衷心よりお礼と感謝を申し上げ御報告とさせていただきます。

なお、ウクライナに対し国連UNHCR協会(難民支援団体)を通じ43万円(事前募金30万円、当日募金13万円)寄付させて頂きました。



米山学友会主催「国際交流会」

米山学友

CHANDRASIRI KAZUMI (チャンドラシリ カズミ)

(世話クラブ：伊勢原平成RC)

4年ぶりの国際交流会、思ったより成功したと信じています。国際交流会とは、奨学生同士の交流、そしてロータリアンと奨学生と間の交流でもあります。米山奨学財団では、様々な国からの奨学生が所属しています。彼らの国の名物を準備し、みんなで食事を楽しむ、とても重要なイベントです。今回の国際交流会では、7ヶ国の食事を作ることができました。その国々は、中国、韓国、サウジアラビア、モンゴル、台湾、トルクメニスタン、トルコ、インドネシアです。神奈川県中郡二宮町、町民センターでイベントを開会しました。1月28日当日、奨学生は国ごとに分かれて食材を持ち寄りました。全員が使用する一般調味料は、我々学友が準備しました。二宮町町民センターの調理場で、朝9時から12時半まで料理を作って、交流ホールで最終準備をしました。13時に招待されたロータリアンの方々が40名近く集まっており、各国の料理を、学生が自信を持って参

加者に説明しました。料理名、食材や調味料の説明、簡単な作り方の説明をしました。開会挨拶後、ブッフェ形式で、参加者全員が好きな料理を食べ始め、奨学生の自己紹介や感想聞きながら料理を楽しみました。学友が飲み物も用意したので、高級ホテルの料理体験みたいな雰囲気だと思いました。腹一杯食べても、もっと食べたいという方が多かったので、皆さんにお持ち帰りができるように弁当ボックスもご用意しました。最後に全員で片付けを行い、イベントは終了とさせていただきます。今年の交流会は予算内で開会でき、問題なく終わることができました。ロータリアン、学友と奨学生のおかげで、今年は最高の国際交流会でした。来年の国際交流会をもっと良くするために、皆さんの意見を踏まえて計画をしていきたいと思っております。これからも応援よろしくお願いします。



第8グループIMを振り返って

第8グループ

ガバナー補佐 林 啓之

(平塚北RC)



2月3日(土曜日) 午後1時30分点鐘に始まり、第8グループIMの開催となりました。

メインテーマを「地域発一学びの子供たち」と共に「不登校」と題し、多くの児童生徒が不登校に陥っている現実に視点を当て、テーブル別にバズセッション形式で協議をしていただきました。普段のIMの多くは講師による講演であったり、テーマを決めてのパネルディスカッションであったりですが、今年のIMは出席されたロータリーメンバーの参加形を意識しての開催としました。7~8人のテーブル席を14ヶ所程設け、それぞれに司会者・書記を予めお願いして、テーマも選択してのバズセッション形式です。

そのテーマは、

- 1, 不登校って何？
- 2, 不登校は悪い事？
- 3, 子どもが不登校に陥ってしまったとき
あなたはどの様に接しますか？
- 4, 不登校児への対処方法は？
例えば ・学びの多様化学校（不登校特例校）
・フリースクール
・親が学習を見る

とさせていただきます。

バズセッションも大きく2セッションに分けて行い、プロローグとして2017年交付されました「教育機会確保法」並びに不登校の実態として、全国不登校児童生徒数299,048人。この第8グループ及び近隣都市の不登校児童生徒数の実態も合わせて説明し、セッションに入って頂きました。頃合いをみて、再度の説明資料の解説（文科相調査資料：不登校者の推移、原因そして欠席した者の内訳）、学びの多様化学校（不登校特例校）の紹介、グループ発表（時間の都合で3グループ）でおおよそ80分間のバズセッションも終了となりました。

開催当初、重いテーマの為バズセッションの進み具合も気になりましたが、意に反して多様な意見が数多く出され、バズセッション終了後回収しました議事録からもその様子が伺えるところです。

その議論の様子を報告いたします。

「不登校」の言葉に抵抗がある。「不登校」は良い事ではないが、悪いイメージではない。大人になり

「不登校」の影響が互いのコミュニケーションの妨げになり得るのではないかと。義務教育の多様化も必要であり、将来義務を果たせるのであれば家庭教育でも良いのでは。「不登校」も多様性の一つと考えるのも良いのでは転校してイジメにあったが、何とか学校に通うことができた。友人がいたからかもしれない。友達にからかわれ「不登校」に、親としてはスポコンの様に接したが全然だめだった経験がある。「不登校」について日本は対処療法、海外は予防療法、日本も予防療法に時間とお金を掛けていく事も必要ではないか。学校内での人間関係、生徒同士、先生、家庭内の問題などの意識（情報）の共有ができていない。授業が終わり、部活動に夢中になっていた、「不登校」の生徒がいたが学校に行くのが楽しかったです。等、等、等。

数限りなく提出されていきました。あ～あつ。良かった杞憂に終われたと思った瞬間でした。いずれにせよ当初の目的である、「不登校」を感じ、知り、考えるそして大人としての見守る姿勢に結びつくことを今後に期待をしていきたい。

「不登校」自体解決方法を見出すことは大変なことには、今のところ代わりないと考えますが、このIMを機にロータリー間で議論と実践が深まることになればと思います。

最後にIMを開催するにあたり、ホストクラブを務めて戴いた平塚湘南RC川内実行委員長以下会員の方々には心よりの感謝を申し上げます。懇親会アトラクションに出演されたダンスチーム「疾風乱舞」の中高生のお嬢さんたちにはバズセッションにもそして、よさこい踊りのパフォーマンスにと出演頂き、会場の空気が一瞬で華やか変わり、参加いただいていた大変有難く思った次第です。また、第8グループ会長幹事の皆様にもお礼を申し上げます。お陰様で無事に終了できました。ありがとうございました。





第6グループ IM報告



第6グループ
ガバナー補佐 **小松正道**
(海老名RC)

2024年2月10日(土) レンブラントホテル厚木にて、第6グループIMが開催されました。大会テーマは「共に生きる社会を目指して ～発達障害を学ぼう～」です。

第1部 開会式、第2部 映像視聴、第3部 講演、第4部 閉会式、第5部 懇親会と200人を超える参加者の中で、盛大に行われました。

第2部の映像視聴では、「君が僕の息子について教えてくれたこと」(2016年NHKで放映)これは奇跡の自閉症作家・東田直樹氏を描いて全国に感動を与えたドキュメンタリーです。内容としては、東田さん自身が、著書の中で、自閉症であることを自覚しながらも、止めることのできない行動、(何度も跳ねてしまう事、言葉が上手に話せないこと、部屋に入ると窓越しに車のタイヤを長時間見つめること)、周りの人たちから刺される視線を浴びながらも、自分が原因で親や、家族、友達に迷惑をかけていないかと、相手を思いやるやさしい気持ちや、素直な気持ちを、東田さんの言葉として伝えています。ドキュメンタリーのタイトルにある「君が僕の息子について教えてくれたこと」とは、ある、自閉症の息子を育てる父親が、東田さんの著書を通し、息子の日常繰り返えす行動に、それまでは父親としてやさしく接することは出

来ず、自分の人生そのものを恨んでいた。そんな自分に、息子の気持ちを教えてくれた。それを教えてくれたのは東田直樹さんだったわけです。

第3部では、明蓬館高等学校校長・理事長の日野公三氏に「発達障害について学ぼう」をテーマにご講演をいただきました。日野公三さんは、東田さんの入学受け入れて以来、発達障害を持つ生徒の学びに大きな使命感を持ち、厚木市内にも湘南厚木SNECを開設、運営しております。講演では、発達障害の医学的な知見や、それにより生じる行動など、事例を挙げながら学び、「共に生きる社会を目指して」我々ロータリアンが、奉仕活動を通して何ができるかを考えさせられる一日となりました。東田さんの活躍には、いつもそばにいてくれる、お母さんの存在が大きく影響しているものでした。

結びに、IMホストクラブ、厚木中ロータリークラブ小澤会長、藤川実行委員長、メンバーの皆様には、多大なるご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。山口厚木市長、田島ガバナー、同期ガバナー補佐の皆様、ご臨席を賜りありがとうございました。

そして第6グループ10クラブの皆様、ロータリアンの友情に心から感謝いたします。





秦野ロータリークラブ

会長 山口 宏



秦野ロータリークラブは1961年（昭和36年）に創立し、今年度で64年目を迎えます。会員数は51名で幅広い職業や年齢層から構成されており、本年は「気軽に声を掛け合える環境で、一人一人が楽しいと思えるクラブ運営」のクラブ方針のもと、明るく元気に活動しております。

奉仕活動では秦野市民の日においてエンド・ポリオ&麻薬撲滅キャンペーン運動を市内3クラブ合同で実施し、併せて募金活動を行いました。また、親睦事業として国立西洋美術館を訪れた後、日の出棧橋から出航するクルーズ船での例会も開催しました。2月13日には3000回例会を達成しました。当日は100%出席も達成し、多くのお客様にもお越し頂きました。ご参加の皆様有難うございました。4000回例会に向けて会員一丸となってクラブ活動に取り組んでいきます。



ポリオ撲滅



クルーズ

伊勢原ロータリークラブ

会長 須藤 宣弘



伊勢原市は、人口10万人強の神奈川県央やや西に位置し、大山のふもとにある風光明媚な町です。農産物の名産は果物と卵が有名です。

伊勢原ロータリークラブは、創立1969年5月7日です。本年で55周年を迎えます。

会員数は、本年度2名の増員ができて50名の大台に乗りました。過去には60名以上の時もあり、さらなる増員を会員一同が望んでいます。

本年度のクラブテーマは、「クラブライフを楽しもう」です。35年前に、故濱田勝彌PGがガバナー年度の国際ロータリークラブのテーマと同じです。このため月に1回は、夜間懇親例会を開催しています。

奉仕活動は国際奉仕活動として7月に、ワールドキャンパス伊勢原の協力のもと海外よりお客様を迎え、藍染めと大山コマの体験をして頂きました。青少年奉仕活動として8月に、市内の少年野球チーム所属の選手と伊勢原RC野球同好会の交流試合を行いました。社会奉仕活動として10月の伊勢原道灌まつりに、伊勢原3ロータリー合同キャンペーン「薬物乱用防止」、単独で「END POLIO NOW」キャンペーンを行いました。さらに「ロータリー カフェ」を開催し、その収益を子供食堂に贈呈しました。職業奉仕活動として1月に、講師14名で伊勢原中学校にて「ふれあい授業」を行いました。今後さらなる活動をまだまだ予定しております。

再来年度は、当クラブの松下孝がガバナーとなります。宜しくお願い致します。



END POLIO NOW



ロータリー カフェ



ふれあい授業



秦野中ロータリークラブ

会長 三浦 義政



秦野中ロータリークラブは昨年創立45周年を迎え、本年会員35名で新たな一步を踏み始めました。

田島ガバナーは「私たちが得意とする」を継続すると同時に、変化に対してOPENで前向きになるとあるように、今年は次なる5年、10年を展望し、未来の第一歩にするべくテーマを「笑顔で未来の活動を生み出そう」と掲げ、継続と変化をしていく今後のロータリー活動、また永遠のテーマでもある増強についても全会員で考え策定し、未来に実現する為に活動しております。

継続事業であるヤマユリの里づくりは、市内外から訪れる方々に楽しんでいただこうと、本年も落ち葉かきや、見頃になる前にはヤマユリの支柱立て、さらに女郎花も約50株程植えました。

初夏にはヤマユリ、秋には女郎花が鮮やかに彩ります。是非震生湖付近の渋沢丘陵へ足を運んで頂ければと思います。



フューチャービジョン会議



ヤマユリ鑑賞会

伊勢原中央ロータリークラブ

会長 小林 俊道



クラブの今年度の活動は、伊勢原道灌まつりにおいて、昨年度より新たな奉仕事業として取り組んでいますピンクリボン運動のPR活動を行いました。会場にのぼり旗を立てて公共イメージアップをアピールしながら、ピンクリボンをテーマに女性パネラー4名を交えてのフリートークと、ピンクリボンふじさわの代表でもあります歌手の麻倉未稀さんに、音声テープで出演していただきました。今後もクラブの継続事業として引き続き取り組んでいきたいと思ひます。また、親睦旅行を兼ねて友好クラブであります伊勢ロータリークラブの例会に出席し、2年前に地区補助金を活用して作成した「伊勢原開村400年記念誌」をお届けしました。このような親睦旅行の企画や毎年恒例の泊りでの新年会、ゴルフコンペ、今年は横浜ベイコートでのクリスマス例会、クリスマスマーケットの散策など、親睦活動が多いのもクラブの特徴であります。会員や家族の親睦を深め、より繋がり、絆を高めていくのと同時に、親睦活動を新会員入会の入口として、クラブの重点課題であります会員増強に努めていきたいと思ひております。



ピンクリボン運動のPR活動



新年例会(熱海)



クリスマス例会

クラブ紹介

第7グループ

秦野名水ロータリークラブ

会長 山谷 洋子



当クラブは1987年に発足し、会員数15名と小規模なクラブですが、第7グループの一員として男性9名、女性6名で活動しております。今年度は特に、地域密着の活動をしてきました。

青少年奉仕活動では、青少年の将来へ向けた準備の手助けとなるよう、児童養護施設の高校生（15名）にテーブルマナー教室を開催しました。また、保育園には継続事業としている絵本贈呈を2園行いました。園児からのお礼のセレモニーでは、鍵盤ハーモニカの演奏や合唱で私たちに沢山の笑顔を見せてくれました。

国際奉仕活動では、国際交流フェスティバルの日本語スピーチ大会に協賛しました。2月には移動例会で海上自衛隊の方をお招きし、「日本の国防について」貴重なご講演を頂きました。

これからもロータリーを学び、楽しみながら活動を充実させていこうと思っております。



子ども達と絵本



日本語スピーチ大会参加者



移動例会・講演中

伊勢原平成ロータリークラブ

会長 中村 眞 英



『希望に向けてアクション！』伊勢原平成ロータリークラブは次年度に創立35周年を迎えます。今年度はコロナ禍で停滞していた活動を再び活発にして、節目の次年度につながるための大事な一年と位置づけて、中村眞英会長のもと奉仕から親睦まで意欲的に行っております。

3年に及んだコロナ禍は、成長期の青少年から様々な機会を奪いました。交流・経験・思い出作り、どれをとっても成長のためには大切なことばかりです。失った機会を少しでも多く取り戻して欲しいという願いから、今年度は青少年奉仕に特に力を注いでいます。折しも長らく止まっていた青少年交換留学生制度が再開して、ブラジルからの留学生をお迎えし、内外のたくさんの方々のご協力のもとでお世話させていただいております。

5年で完遂する目標のクラブの戦略計画も4年目となり、会員増強から奉仕活動まで様々な分野で意欲的に取り組み、成果が上がりつつあります。

親睦のための同好会も発足して、季節ごとに日帰りのミニツアーを楽しみ、その輪は広がっています。『次はどこに行って何をしようか？』と楽しげな会話が交わされています。奉仕から親睦まで活発な当クラブの新しい例会場に、ぜひメイクにいらしてください。



四季楽同好会



お出迎え



お知らせ



シンガポールで希望をわかち合おう

2024年ロータリー国際大会

2024年5月25日～29日

シンガポール

世界と希望をわかち合うため、
2024年5月25日～29日にシンガポールで開かれる国際大会にご参加ください。
*3月31日までに登録して、事前割引料金をご利用ください。

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



大森 竜太郎
①茅ヶ崎
②2023. 07. 27
③電気通信設備工事
④伊藤 和明



大工原 佐知子
①藤沢北西
②2023. 09. 05
③税理士
④井上 直紀



中村 顕
①小田原北
②2023. 12. 06
③食肉卸業
④西山 量雄、
西山 義久



栗本 明彦
①かながわDEI
②2024. 01. 10
③アート及び
デザイン
④神谷 一博



秋本 鏡介
①伊勢原平成
②2024. 01. 16
③整体業
④高橋 宏昌



赤津 欣弥
①平塚
②2024. 01. 25
③石油業
④白石 慎太郎



中嶋 博茂
①相模原
②2024. 02. 08
③旅行業
④牧野 英太郎



松村 敏生
①かながわDEI
②2024. 02. 09
③シェフ・調理師
④神谷 一博



杉山 利行
①平塚
②2024. 02. 15
③金融業
④升水 一義

訂正のお知らせ

2月号に掲載されました新会員浅野直樹様（伊勢原RC）の入会日が相違しておりました。

訂正してお詫び申し上げます。

誤) 2024年1月24日 正) 2024年1月17日

訃報 ご冥福をお祈り致します



永保 固紀 (大和中)

2024年1月26日逝去 (享年81歳)

1978年12月 入会
2001～02年度 クラブ会長
2002～03年度 地区幹事
2010～11年度 クラブ会長
第3回マルチプルフェロー
第5回米山功労者

